

Netcommunity SYSTEM

αNX

シングルラインコードレス電話機

取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム
αNXシングルラインコードレス電話機を
お買い求めいただきまして、まことにあり
がとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」を
よくお読みのうえ、内容を理解してか
らお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそば
などいつも手元において、お使いくだ
さい。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

	危険：	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
	警告：	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意：	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	お願い：	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招く内容を示しています。
	お知らせ：	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
	ワンポイント：	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法(●P56、61)にしたがって消去願います。
- 主装置や電話機を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。分解・改造は法律により禁止されています。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっているネットコミュニティシステム取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池/パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。



危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス(赤)・マイナス(黒)の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。まちがった接続をすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・直接はんだ付けしない。
 - ・プラス(赤)・マイナス(黒)を針金などの金属類で接触しない。
 - ・電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
 - ・外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない。
 - ・水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

設置について



警告

- 本商品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
 - ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
 - ・湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
 - ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

お取り扱いについて



警告

- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください(分解、改造された主装置は修理に応じられない場合があります)。
- 本商品や充電器に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 充電器の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器の電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源スイッチを切り、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり、本商品内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 充電器の電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。
- 自動車などの運転中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。交通事故の原因となることがあります。
- 歩行中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。
- 本商品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。
- 本商品や電話機コード類を熱器具に近づけないでください。本商品や電話機コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について



注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・振動、衝撃の多い場所。

お取り扱いについて



注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 充電器の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品や充電器をお手入れするときは、安全のため必ず充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

STOP

お願い

- 同じ方式のデジタルコードレスシステムが共存する場合は、電波干渉が発生する場合があります。

お取り扱いについて

STOP

お願い

- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。自営モードでの本商品は使用できません。
- 充電器の電源プラグを抜いたままにしないでください。
 - ・電池が消耗すると自営モードで本商品が使用できません。
 - ・本商品が充電できません。
- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。
- 本商品の電源はいつも「ON(入)」にしてください。「OFF(切)」になっていると、電話がかかってくることも受けられません。お買い求め時は「OFF(切)」になっていますので、必ず「ON(入)」にしてからお使いください。
- 本商品は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電器に置き、充電ランプの点灯を確認してください。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- 本商品は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。
 - ・ぬらさないでください。
 - ・浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
 - ・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
 - ・受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - ・コードレス電話機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
 - ・ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。
- 本商品は、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

公衆モードで、警察(110)、消防(119)にかけるときには

●立ち止まっておかけください。

警察(110)、消防(119)へかけるときは、通話中にお話しが途切れることがないように、立ち止まってご利用ください。

●通話終了後に電源を切らないでください。

警察(110)、消防(119)からの呼び出しができなくなります。

●PHS からの通話であることをお伝えください。

警察(110)、消防(119)での対応がスムーズに行えるよう、PHS からの通話であることをお伝えください。

●詳しくは、各サービス事業者にお問合せください。

目次

お使いになる前に	1
● 特長	2
● 本体および付属品の確認	3
● 各部の名称とはたらき	4
(1) 本体	4
(2) ディスプレイ	7
(3) ハンドストラップの取り付け	10
(4) イヤホンマイク用コネクタ	10
● お使いになる前のご注意	11
● 電話機の使い方	12
(1) 電源の「入」「切」	12
(2) 音量の調節	12
(3) キーロック	13
(4) 登録の確認	13
● 電池パックと充電	14
(1) リチウムイオン電池パック	14
(2) 電池の使用可能時間	14
(3) 充電方法について	14
(4) 電池パックの交換方法	16
(5) 充電端子のお手入れ	17
(6) 使用済み電池パックについて	18
会社モードでの使い方	19
● 電話をかける	20
内線に電話をかける	20
外線に電話をかける	20
電話帳を使ってかける	22
● 電話を受ける	23
着信を受ける	23
● 電話を保留する	24
通話を保留する	24
通話を再開する	24
● 電話を転送する	25
通話中の電話を転送する	25
保留転送の受けかた	25
● 電話をかけ直す	26
発信履歴からかけ直す	26
着信履歴からかけ直す	27
● マナーモードを使用する	28
マナーモードを使用する	28
● アンテナサーチを実行する	28
アンテナサーチを実行する	28
● 電話帳を使って転送する	29
電話機の電話帳を使用して転送する	29

目次

公衆モードでの使い方	30
● 電話をかける	31
電話をかける	31
電話帳を使ってかける	32
● 電話を受ける	33
着信を受ける	33
● 便利な使い方	34
発番号を通知する（通知しない）	34
料金分計サービス	35
留守番電話サービス	36
着信拒否設定	37
指定着信拒否	40
ドライブモード(安全運転モード)	41
トランシーバモードでの使い方	43
● 電話をかける	44
電話をかける	44
● 電話を受ける	45
着信を受ける	45
電話帳を使う	46
● 電話帳を使う	47
電話帳に登録する	47
電話帳に登録する(着信／発信履歴から登録する)	49
電話番号の検索	51
電話帳から発信する(付加ダイヤルを使用する)	52
電話帳を編集する	53
電話帳から削除する	55
大きな文字を使用する	57
Simpleメールを使う	58
● メールの使い方	59
メールを読む	59
メールを保護する(保護を解除する)	60
メールを削除する	61
メールを返信する	62
メールを作成する	63

目次

機能設定方法	64
● 機能設定方法	65
機能モードの使い方	65
機能モード一覧表	66
● 機能設定	70
文字入力カー一覧表	70
自局番号表示(機能0)	71
発信モード確認(機能10)	71
発信モード設定 (機能110~118、121~128、13、141~148、151~158)	71
パスワードロックの設定・解除(機能2)	72
動作モード選択(機能30)	72
動作モードの詳細設定(機能31~33)	73
着信音種の設定(機能34)	74
着信自動応答回数設定(機能35)	74
付加ダイヤル設定(機能36)	75
ワンタッチダイヤルの設定(機能4)	76
電話帳機能の設定(機能5)	76
公衆機能の設定(機能6)	76
パスワードの設定(機能81)	77
LCDコントラストの設定(機能821)	78
バックライト点灯時間の設定(機能822)	78
LCD表示サイズの設定(機能823)	79
圏外警告音の設定(機能83)	79
時計の設定(機能840)	80
アラームの設定(機能841、842)	80
マイネームの設定(機能85)	81
全設定初期化(機能89)	81
発信／着信履歴(機能91、92)	81
その他	82
● 困ったときには	83
● 索引	84
● 主な仕様	86

お使いになる前に

● 特長	2
● 本体および付属品の確認	3
● 各部の名称とはたらき	4
(1) 本体	4
(2) ディスプレイ	7
(3) ハンドストラップの取り付け	10
(4) イヤホンマイク用コネクタ	10
● お使いになる前のご注意	11
● 電話機の使い方	12
(1) 電源の「入」「切」	12
(2) 音量の調節	12
(3) キーロック	13
(4) 登録の確認	13
● 電池パックと充電	14
(1) リチウムイオン電池パック	14
(2) 電池の使用可能時間	14
(3) 充電方法について	14
(4) 電池パックの交換方法	16
(5) 充電端子のお手入れ	17
(6) 使用済み電池パックについて	18

お使いになる前に

特長

本商品は、事業所で利用できる会社モード、公衆モード、そしてトランシーバモードと3つの発信モードを持っています。

1. 会社モード

会社モードは、Netcommunity SYSTEM の専用モードです。最大8ヶ所の事業所で利用できるように、会社1～会社8まで登録が可能です。ビジネスでのご利用に最適です。

2. 公衆モード

公衆モードは、「シングルラインコードレス電話機」ごとにサービス事業者との契約が必要です。

3. トランシーバモード

同一のデジタルコードレスシステムへ登録することで、子機同士でトランシーバとしてご利用になります。

【Netcommunity SYSTEM での主な特長】

- マルチゾーン対応、そしてハンドオーバー機能をサポートしているため、ゾーン間移動が可能です。あり、お使いいただけるサービスエリアが広がります。
(但しハンドオーバー機能は、通話を再接続する方式なので一旦切断が発生します。)
- 8個のワンタッチダイヤルが使えます。

【その他の特長】

- 着信履歴を20件まで記憶でき、かけてきた相手に折り返しの発信ができます。
- 発信履歴を20件まで記憶でき、一度かけた相手に再度の発信ができます。
- マナー、通常、ユーザの3つの動作モードが切り替えて使用できます。
- 各々のモードでの着信音量、受話音量、パイプレータ有無等を個別に行えることで、お客様にご使用状況に合わせたモード設定が可能です。
- 最大400件の電話帳に各々2つの電話番号が登録でき、ビジネスユースに応えます。
- 作業をしながら通話ができ、着信自動応答機能も備えたイヤホンマイク通話が可能です。
- 2種類のアラーム機能により、タイムマネジメントに有効です。

STOP お願い

- Netcommunity SYSTEM の主装置またはデジタルシステムコードレス接続装置が電源を切ったり、リセットされた場合は、必ずシングルラインコードレス電話機の電源を切って、入れ直してください。

お使いになる前に

本体および付属品の確認

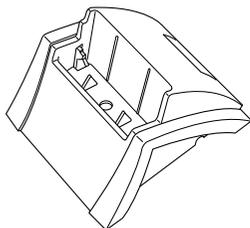
はじめてお使いになる前に、本体および付属品をご確認ください。万一、足りないものがあつたときは、販売店にご連絡ください。



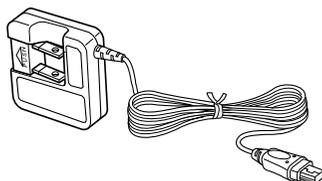
シングルラインコードレス電話機 (1台)



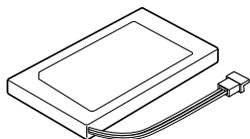
取扱説明書 (1部)



充電器 (1台)



電源アダプタ (1個)



電池パック (1個)

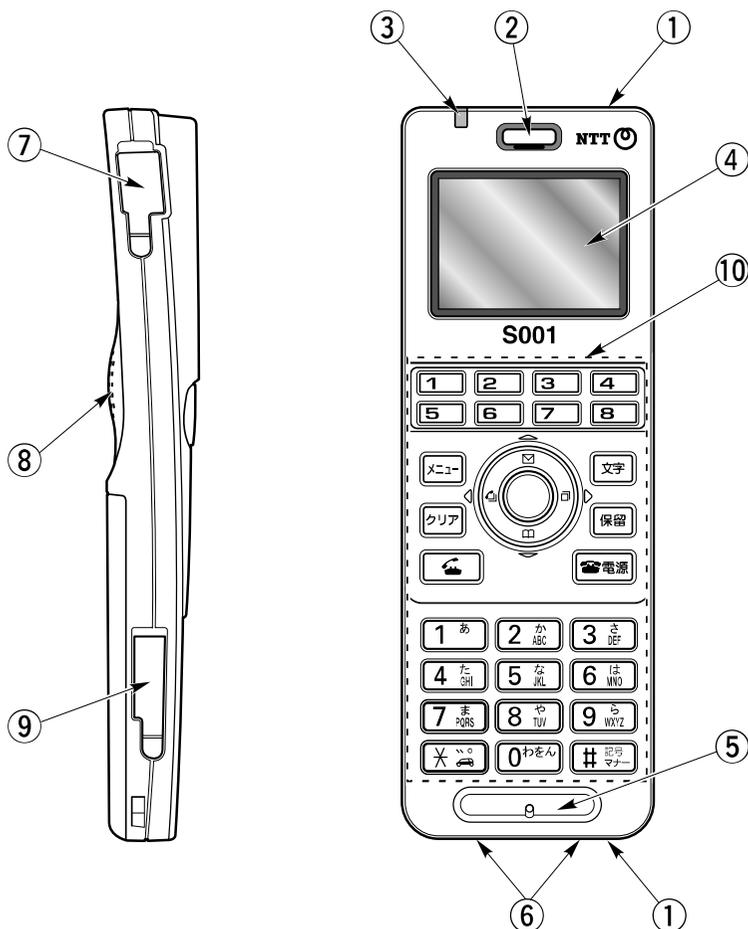


ハンドストラップ (1本)

※その他 保証書

お使いになる前に 各部の名称とはたらき

(1) 本体



- ① アンテナ
内蔵メインアンテナ、内蔵サブアンテナ
※通話時にこの部分を手で覆わないようにご使用ください。
- ② 受話口
相手の声がここから聞こえます。
- ③ 着信ランプ
着信時、メッセージ受信時、充電時に点灯します。
- ④ ディスプレイ
電話機の状態やダイヤルした電話番号などを表示します。
- ⑤ マイク
自分の声をここで受けて、相手に送信します。
- ⑥ 充電端子
電池パックを充電するための端子です。
専用の充電器で充電します。

お使いになる前に

- ⑦ ケーブルコネクタ パソコンとUSBケーブルで接続して充電することができます。
 ※パソコンの種類によっては、充電できないものもあります。
- ⑧ スピーカー 着信音、警告音等が鳴ります。
- ⑨ イヤホンマイクコネクタ イヤホンマイク(市販品)のプラグを接続するコネクタです。
 ※⑦⑨のカバーはケーブル接続時に邪魔にならないように回すことができます。

⑩ 各種ボタン



発信／応答ボタン

電話をかけた時、受けたりするときに使用します。
 会社モードで通話を保留または保留解除するときに使用します。



クリアボタン

入力した電話番号や文字を訂正するときに使用します。



切／電源ボタン

通話を切るときに使用します。
 電源OFF時に2秒以上長く押すと電源を入ります。
 電源ON時に2秒以上長く押すと電源が切れます。
 待ち受け時に押すと電波の強い接続装置を探しに行きます。
 着信鳴動時に押すと着信音を停止することができます。



～



ダイヤルボタン

ダイヤル、電話帳の名前登録、各種機能設定時に使用します。



ダイヤルボタン

待ち受け時に1秒以上長く押すと、マナーモードの設定／解除ができます。



ダイヤルボタン

ダイヤル時に1秒以上長く押すと、“ポーズ”が入力できます。
 待ち受け時に1秒以上長く押すと、ドライブモードの設定／解除ができます。

※ドライブモードは公衆登録が必要です。



メニューボタン

メニューを選択するときなどに使用します。



文字ボタン

文字の入力モード切替として使用します。

お使いになる前に



保留ボタン

会社モードで通話を保留または保留解除するときに使用します。



~



ワンタッチボタン

ワンタッチボタンとして使用できます。



中央ボタン

メニュー操作／決定に使用します。

上ボタン

待ち受け時にメール操作モードに入ります。

メニュー操作、電話帳操作時に上を選択します。

着信時に着信音量を大きくします。

通話時の受話音量調節画面で受話音量を大きくします。

下ボタン

待ち受け時に電話帳操作モードに入ります。

メニュー操作、電話帳操作時に下を選択します。

着信時に着信音量を小さくします。

通話時に下ボタンを押すと、電話帳操作モードに入ります。

通話時に下ボタンを1秒以上押すと、受話音量調節画面を表示します。

通話時の受話音量調節画面で受話音量を小さくします。

右ボタン

待ち受け時に発信履歴一覧を表示します。

電話帳の登録モードでは右に移動します。

左ボタン

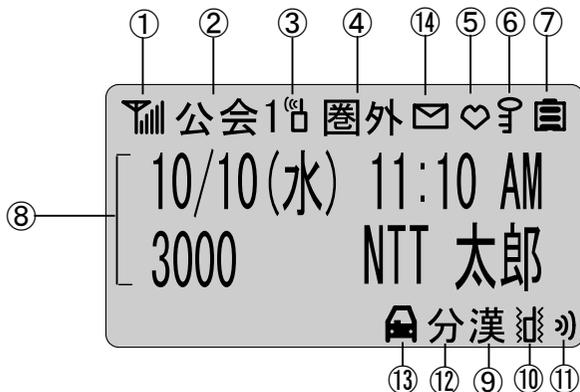
待ち受け時に着信履歴一覧を表示します。

電話帳の登録モードでは左に移動します。

お使いになる前に

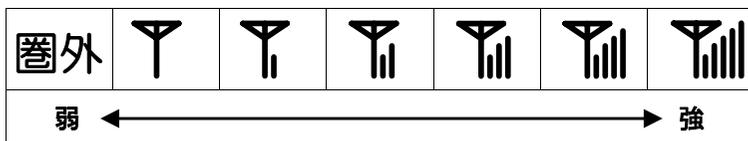
各部の名称とはたらき

(2) ディスプレイ



① 受信電界強度表示

待ち受け状態および通話状態において、接続装置からの電波の強さ(電界強度)を棒グラフで7段階に表示します。



② 待ち受け状態表示(会社モード・公衆モード)

会1 会社モードの接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示します。(会1～会8:会社1～会社8)

公 公衆の基地局の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示します。

会1

会社、公衆の2面待ち受け設定の場合に、優先的に発信を行う側を反転させて表示します。

公

片方のモードが圏外の場合は、反転表示しません。

お使いになる前に

③ トランシーバモード表示

トランシーバモードにおいて、待ち受け中または通話中のときに表示します。

④ 圏外表示

設定された動作モードにおける接続装置からの電波が着信可能なレベルに達していないことを表示します。

⑤ マナーモード・ユーザモード表示

♡ マナーモードに設定されていることを表示します。



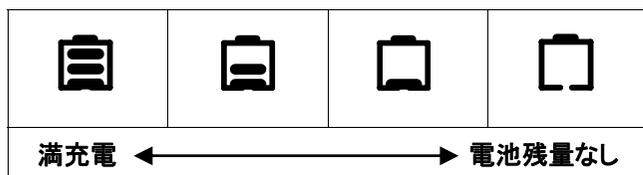
ユーザモードに設定されていることを表示します。

⑥ パスワードロック表示

不正利用防止のためのパスワードロックを設定しているときに表示します。

⑦ 電池残量表示

電池残量を4段階で表示します。



特別な表示



通話中に電池残量なしの状態になると、電池切れ警告音が「ピーッピーッ」と30秒毎に鳴ります。

※ 充電異常が表示された場合は、すぐに電源を切り、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

⑧ 文字表示

カレンダー、時刻、ダイヤルした番号、メッセージ等を表示します。

また、電話帳操作時には小さい文字(4行20文字)で表示します。

大きな文字(2行20文字)を選択することも可能です。

お使いになる前に

⑨ 文字種別表示

電話帳編集時に入力する文字種別を表示します。

漢	ひらがな(全角)、漢字(全角)を入力します。
ア	カタカナ(全角)を入力します。
アイ	カタカナ(半角)を入力します。
A	英文字(全角)を入力します。
AB	英文字(半角)を入力します。
12	数字(半角)を入力します。

⑩ バイブレータ設定表示

バイブレータの動作が設定されていることを表示します。

⑪ 音量表示

待ち受け中または着信中は、着信音量を表示します。
通話中は受話音量を表示します。

⑫ 分計発信表示

分計発信モードに設定されていることを表示します。
公衆モードのみ表示します。

⑬ ドライブモード表示

ドライブモードに設定されていることを表示します。
公衆モードのみ表示します。

⑭ メール表示

未読メールがあることを表示します。
公衆モードで使用できます。



ワンポイント

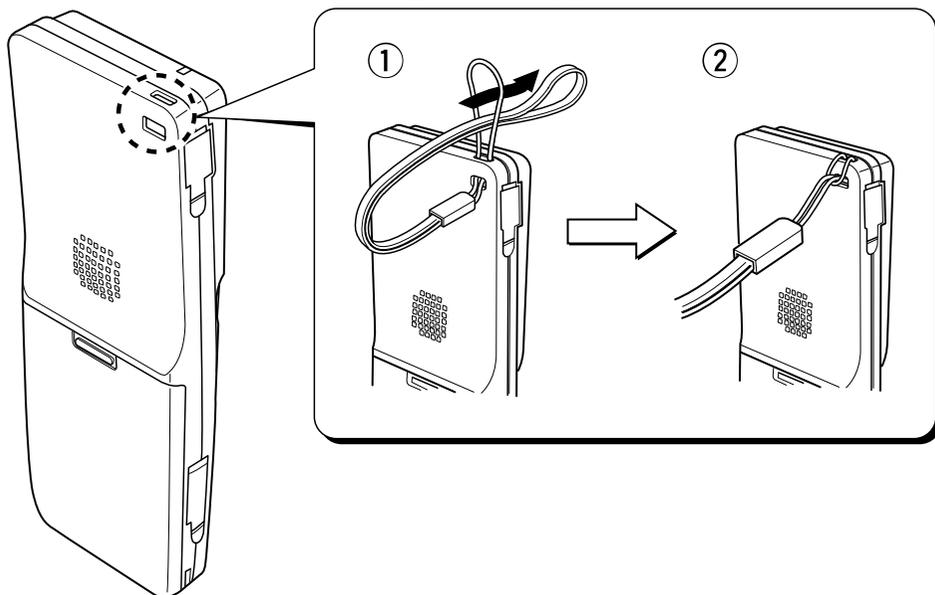
- 電源をONにするか、ボタンを押すたびに、ダイヤルバックライトが10秒間点灯します。(初期値) 暗いところでもダイヤルが見えます。
- 同時にディスプレイのバックライトも点灯します。
- 充電器から取り外した時、設定されたバックライトの点灯時間の間、バックライト等が点灯します。

お使いになる前に

各部の名称とはたらき

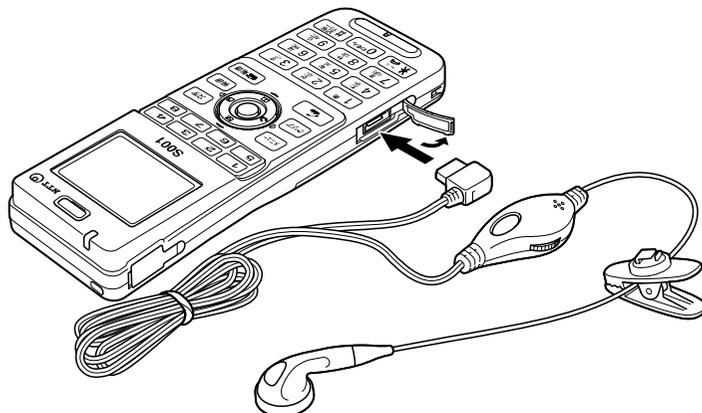
(3) ハンドストラップの取り付け

下図のようにハンドストラップを取り付けます。



(4) イヤホンマイク用コネクタ

イヤホンマイク(市販品)のプラグを接続するコネクタ。
平型プラグ方式のものを使用してください。



お使いになる前のご注意

① 通話可能範囲について

本商品と接続装置の間は、見通し距離で約50メートルが通話可能な範囲です(会社モードの場合)。なお、金属製のドア・電化製品の近くなど周囲環境によってはお話できないことがあります。故障ではありません。

通話中に本商品と接続装置が離れすぎますと、圏外アラームが鳴ります(圏外警告音の設定(⇒79ページ)が「ON」のときにかぎります)。

通話可能範囲から離れて圏外アラームが数秒間続くと通話が切れることがありますので、その前に通話可能範囲に戻ってください。

② 電波について

放送局の近くやアマチュア無線、CB無線などの電波の強いところでご使用になると、雑音などが入ることがあります。

③ 秘話機能について

本商品はデジタル方式です。

スクランブル機能は、デジタル信号を複雑に変化させて送信する方法で、第三者に通話を傍受されにくくなっています。ただし、故意に特殊手段が用いられたとき、盗聴などの行為を完全に防ぐことはできませんのでご注意ください。

④ 保守について

本商品が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。特に汚れのひどいときには、台所用中性洗剤を薄めて、ご使用のあと乾いた布で拭きとってください。

アルコール、ベンジン、シンナー等の薬品は電話機の表面を傷めるおそれがありますので、使用しないでください。また、化学ぞうきんの使用も避けてください。

⑤ 接続装置と本商品の距離について

接続装置と本商品は1メートル以上離してご使用ください。また、接続装置を複数台設置する場合は、各々の接続装置の間は1メートル以上離して設置してください。

⑥ 本商品間の距離について

本商品同士は50センチメートル以上離してご使用ください。

⑦ 接続装置の複数台設置について

複数のデジタルコードレスシステムの接続装置を隣接して設置した場合、正常に動作しない場合があります。

電話機の使い方

(1) 電源の「入」「切」

電源を「入」「切」にするときは、 ボタンを2秒以上長く押します。



ワンポイント

- 電源を一度切ってから、再度入れる場合は3秒以上待ってからにしてください。

(2) 音量の調節

① 着信音量の調節

着信鳴動中に機能キーの上下ボタンを押すことにより、着信音量を切・小・中・大・じんぞう漸増の5段階に調節できます。

着信中の画面表示

	ゝ	ゝ)	ゝ))	ゝ)))
切	⇔ 小	⇔ 中	⇔ 大	⇔ 漸増

② 受話音量の調節

通話中に下キー長押しにより、受話音量調節画面が表示され、受話音量を小・中・大の3段階に調節できます。

通話中の画面表示

		
ゝ	ゝ)	ゝ))
小	⇔ 中	⇔ 大

電話機の使い方

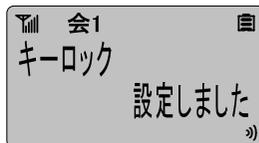
(3) キーロック

持ち運ぶ途中に誤ってダイヤルなどを押さないように、キーをロックすることができます。

(1) キーロックの設定

待ち受け状態で  ボタンを1秒以上長く押します。

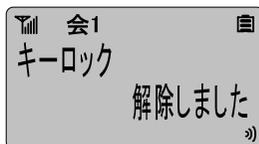
- キーロックの設定状態になります。
-  ボタンと  ボタン以外は無効となります。
- 着信応答のための  ボタンは有効です。



(2) キーロックの解除

キーロックの設定状態で  ボタンを1秒以上長く押します。

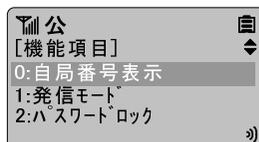
- キーロックの解除状態になります。



(4) 登録の確認

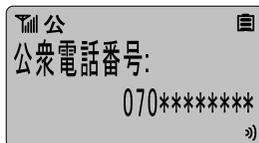
自分の電話機の自局番号を確認することができます。

1  ボタンを押します。



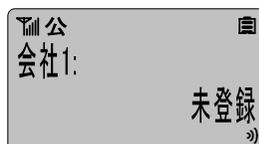
2  ボタンまたは、 ボタンを押します。

- 公衆の登録情報が表示されます。
- サービス事業者との契約が必要です。



3  ボタンで会社1～会社8の登録情報を表示します。

- 会社の番号はトランシーバの番号として使用します。
- 未登録時には、使用できません。



4  ボタンを押すと待ち受け画面に戻ります。

電池パックと充電

本商品は、充電可能な電池を使用していますので、ご使用にならないときは充電器に戻してください。電話機を充電器に戻すときは、確実に差し込み、充電ランプが点灯していることを確認してください。通話中に電池残量が少なくなりますと警告音が「ピーッピーッ」と30秒毎に鳴ります。

はじめてお使いになるときは、満充電状態でお使いください。

※充電時間はおよそ3時間です。

(1) リチウムイオン電池パック

電池パックー103

(2) 電池の使用可能時間

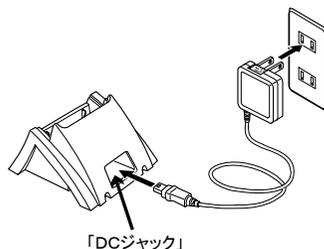
会社モード	連続通話時間	約8時間
	連続待ち受け時間	約250時間
公衆モード	連続通話時間	約8時間
	連続待ち受け時間	約350時間

- 圏外の場合や、エリアを移動すると連続待ち受け時間が短くなります。
- 市販のイヤホンマイクを使用した場合、イヤホンマイクの電気的特性により通話時間が短くなる場合があります。

(3) 充電方法について

電池パックは充電器で本体に実装した状態で充電できます。電話機をご使用にならないときは充電器に確実に差し込み充電ランプが点灯することを確認してください。

- ① 充電器の「DCジャック」に付属品の電源アダプタのDCプラグ(USB型)を差し込み、電源プラグを電源コンセント(100V)に差し込みます。



STOP お願い

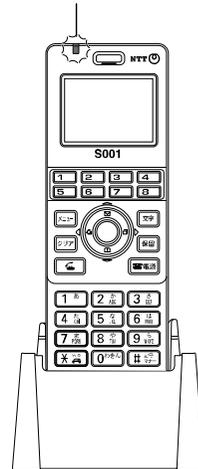
- 充電器には付属品の電源アダプタを使用してください。
- 充電器は直射日光の当たる場所や熱器具の近くでのご使用は避けてください。
- 充電器は周囲温度5℃～35℃の範囲内でご使用ください。
- 電源アダプタのDCプラグ(USB-miniB)を直接電話機のケーブルコネクタに差し込むことで電池パックの充電が可能です。この場合、周囲温度5℃～35℃の範囲内でご使用ください。

電池パックと充電

- ② 本商品を充電器に差し込みます。
- ③ 「充電ランプ」が赤く点灯して充電を開始します。
充電時間はおよそ3時間です。
- ④ 満充電になると自動的に充電を停止して「充電ランプ」が消えます。

充電状態	充電ランプの表示
充電中	赤点灯
満充電	消灯

充電ランプ



- ⑤ 電池の充電容量が減ってくると、再度自動的に充電を開始します。



お知らせ

- 電池が満充電でないときに「充電ランプ」が赤く点灯しない場合は、充電端子の汚れと、電池の取り付けをご確認のうえ、再度電話機を充電器にのせ直してください。
- 電池が空になった状態から長期間放置した後に充電する場合、予備充電時間が最大3分程度必要となります。この期間は「充電ランプ」が点灯しません。



ワンポイント

- 電池残容量により充電時間は短くなるときもあります。
- 電池残容量により充電を行わないときもあります。



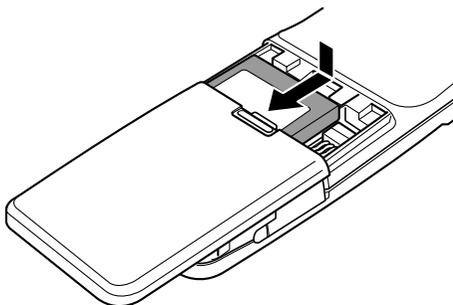
お知らせ

- 本商品とパソコンをUSBケーブルで接続することで、電池パックの充電を行うことができます。
この場合、周囲温度5℃～35℃の範囲内でご使用ください。

電池パックと充電

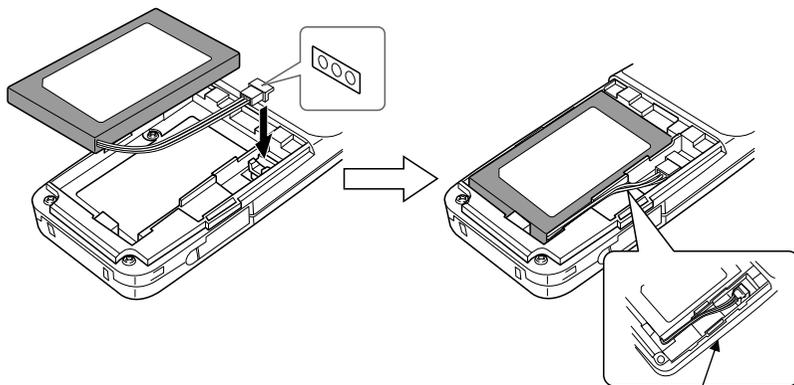
(4) 電池パックの交換方法

- ① 電池カバーを押しながらスライドさせて取り外します。



- ② 古い電池パックを取り外し新しい電池パックに交換します。

コードはしっかりと差し込み、図のように挟み込まないように注意して収納してください。

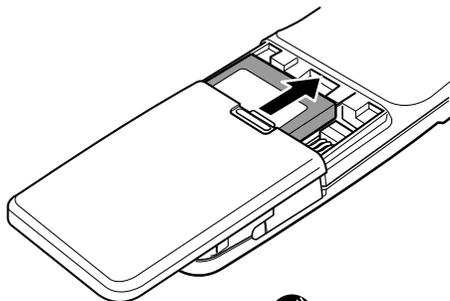


お知らせ

- コネクタの向きに注意してください。
※赤いケーブルが内側にきます。

電池パックと充電

③ 電池カバーを取り付けます。



- お知らせ
- 電池パックのケーブルを電池カバーではさみ込まないように注意してください。

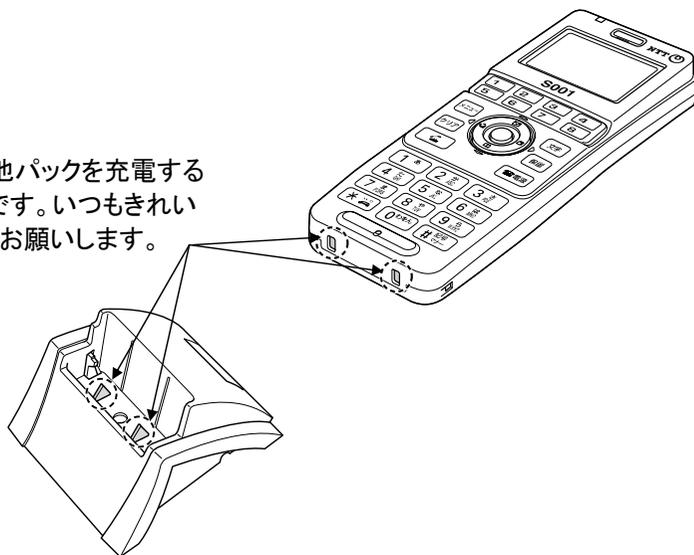
(5) 充電端子のお手入れ

本商品と充電器の充電端子は、充電のためにとっても大切です。充電端子には直接手を触れないようにしてください。

充電端子が汚れた場合は、綿棒や乾いた布等を使用してふき取ってください。

充電端子

本商品の電池パックを充電するための端子です。いつもきれいに保つようお願いします。



会社モードでの使い方

- 電話をかける 20
 - 内線に電話をかける 20
 - 外線に電話をかける 20
 - 電話帳を使ってかける 22
- 電話を受ける 23
 - 着信を受ける 23
- 電話を保留する 24
 - 通話を保留する 24
 - 通話を再開する 24
- 電話を転送する 25
 - 通話中の電話を転送する 25
 - 保留転送の受けかた 25
- 電話をかけ直す 26
 - 発信履歴からかけ直す 26
 - 着信履歴からかけ直す 27
- マナーモードを使用する 28
 - マナーモードを使用する 28
- アンテナサーチを実行する 28
 - アンテナサーチを実行する 28
 - 電話帳を使って転送する 29
 - 電話機の電話帳を使用して転送する 29

会社モードでの使い方

電話をかける

内線に電話をかける

 ボタンを押すと、電話をかけることができます。

1 内線番号を押します。



2  ボタンを押します。

- しばらくして  ボタンが緑点灯します。



相手がでたら通話ができます。

外線に電話をかける

1  ボタンを押します。

2  ボタンを押します。

- しばらくして  ボタンが緑点灯します。
- 「ツ」という発信音を確認してください。



3 電話番号を押します。

相手がでたら通話ができます。



電話をかける



ワンポイント

- 外線グループの中から選んでかけるには(外線群指定発信)

①  ボタンを押す。

② 「ツーツー…」という音を確認してください。

外線群指定発信番号(  ~   []を押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

③ 電話番号をダイヤルボタンで押す。

④ 相手の方が出たらお話しする。

外線グループとは

主装置の「システム設定」により、收容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大8つのグループに分けることができます。

電話をかける

電話帳を使ってかける

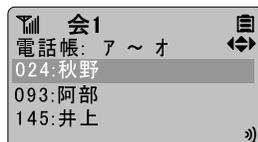
電話帳に登録してある相手に電話をかける。

1 かけたい相手を検索します。

-  ボタンを押します。

※営業部 佐藤さんに電話をかける場合

-  ボタンを4回押して「エ」を表示します。



2 名前一覧からかけたい相手を選択します。

-  ボタンで相手を選びます。
-  ボタンを押します。



3 電話帳からかけたい電話番号を選択します。

-  ボタンで電話番号を選びます。
-  ボタンを押します。



4  ボタンを押します。

相手がでたら通話ができます。



ワンポイント

- ダイヤル入力から電話帳を使ってかけることもできます。

例: 「0」を入力し、 ボタンを押し相手番号(123456789)を選んで発信します。

「0123456789」に電話をかけます。

電話を保留する

通話を保留する

通話中に相手を少し待たせるとき、保留音を流して通話を保留することができます。

1 通話中

2  ボタンを押します。

通話が保留できます。



(発信通話時)

※  ボタンでも、保留できます。

通話を再開する

保留中の通話を再開することができます。

1 保留中

2  ボタンを押します。

※  ボタンでも、再開できます。

相手と通話できます。



ワンポイント

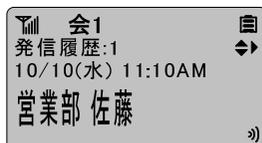
- 保留ボタンを押した後、 ボタンを押したときには、着信(保留リコール)がかかります。

電話をかけ直す

発信履歴からかけ直す

発信履歴を使ってもう一度かけ直すことができます。
最大20件の発信履歴を記憶しています。

1  ボタンを押します。



2  ボタンでかけたいリダイヤル番号を選択します。

※  ボタンで電話番号の確認が行えます。



※  ボタンで名前に戻すことができます。

3 かけるときは  ボタンを押します。

※  ボタンでメニューから電話をかけることができます。
発信／付加ダイヤル付き発信が選択できます。

相手がでたら通話ができます。

ワンポイント

- ダイヤル入力から発信履歴付加して発信することもできます。

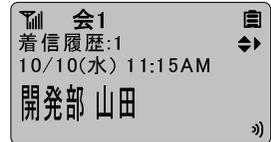
例:「0」を入力し、リダイヤル番号(123456789)を選択して発信します。
「0123456789」に電話をかけます。

電話をかけ直す

着信履歴からかけ直す

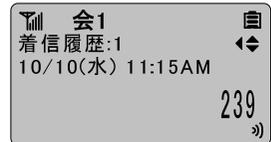
着信履歴を使ってかかってきた相手にかけ直すことができます。
最大20件の着信履歴を記憶しています。

1  ボタンを押します。



2  ボタンでかけたい着信履歴番号を選択します。

※  ボタンで電話番号の確認が行えます。



※  ボタンで名前に戻すことができます。

3 かけるときは  ボタンを押します。

※  ボタンでメニューから電話をかけることができます。
発信／付加ダイヤル付き発信が選択できます。

相手がでたら通話ができます。

 ワンポイント

- ダイヤル入力から着信履歴を付加して発信することができます。
例:「0」を入力し、着信履歴番号(123456789)を選択して発信します。
「0123456789」に電話をかけます。

電話帳を使って転送する

電話機の電話帳を使用して転送する

保留中に電話機の電話帳を使用して電話を転送することができます。

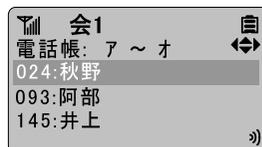
1 通話を保留中



2 ボタンを押します。

3 名前一覧からかけたい相手を選択します。

-  ボタンで相手を選びます。
-  ボタンを押します。



4 電話帳からかけたい電話番号を選択します。

-  ボタンで電話番号を選びます。
-  ボタンを押します。



5 相手が出たら ボタンを押します。



ワンポイント

- 保留中からの電話帳操作は、電話番号検索と転送操作のみが可能です。
- 保留中から左右ボタンを押すことで、発信／着信履歴からも同様の操作が可能です。

公衆モードでの使い方

● 電話をかける	31
電話をかける	31
電話帳を使ってかける	32
● 電話を受ける	33
着信を受ける	33
● 便利な使い方	34
発番号を通知する（通知しない）	34
料金分計サービス	35
留守番電話サービス	36
着信拒否設定	37
指定着信拒否	40
ドライブモード（安全運転モード）	41

- 公衆モードは、「シングルラインコードレス電話機」ごとにサービス事業者との契約が必要です。

公衆モードでの使い方

電話をかける

電話をかける

1 電話番号を押します。



2  ボタンを押します。

- しばらくして  ボタンが緑点灯します。

3 相手が応答すると通話時間表示になります。



相手がでたら通話ができます。



ワンポイント

-  ボタンを押してからダイヤルしても発信することができます。
- 市内通話をおかけになる場合でも、必ず市外局番を押してください。
- サブアドレス発信を行う場合は、1の相手先電話番号を押した後で、 ボタンを押し、サブアドレス番号を押してください。

電話をかける

電話帳を使ってかける

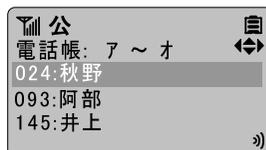
電話帳に登録してある相手に電話をかける。

1 かけたい相手を検索します。

-  ボタンを押します。

※営業部 佐藤さんに電話をかける場合

-  ボタンを4回押して「エ」を表示します。



2 名前一覧からかけたい相手を選択します。

-  ボタンで相手を選びます。
-  ボタンを押します。



3 電話帳からかけたい電話番号を選択します。

-  ボタンで電話番号を選びます。
-  ボタンを押します。



4  ボタンを押します。

相手がでたら通話ができます。

電話を受ける

着信を受ける

着信中に  ボタンを押すと、電話に応答できます。

1 着信中

-  ボタンが緑点滅します。



2 ボタンを押します。

-  ボタンが緑点灯します。

相手と通話ができます。



※ 電話帳に電話番号が登録されている場合は、登録されている名前を表示します。



※ 発信側で発番号非通知と設定されている場合は、相手の番号は表示されません。



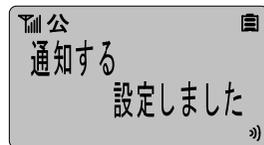
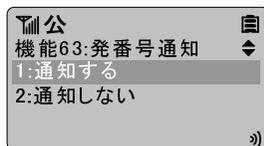
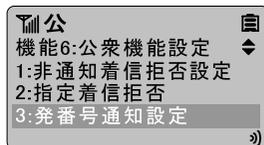
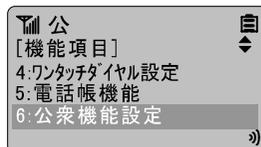
便利な使い方

発番号を通知する(通知しない)

公衆モードで発信者番号通知の可否を設定できます。

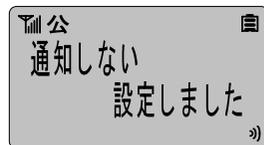
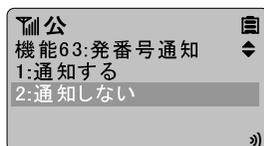
1 発番号通知の設定をします。

- 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 「3: 発番号通知設定」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 「1: 通知する」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。



2 発番号非通知の設定をします。

- 「2: 通知しない」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。



便利な使い方

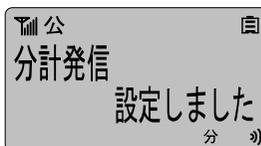
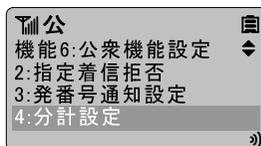
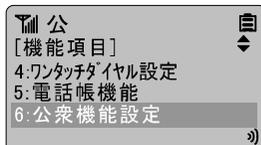
料金分計サービス

料金分計サービスは、分計発信の指定をした通話料金の請求先を通常とは別にすることができるサービスです。

ご利用に際しては、別途サービス事業者への申し込みが必要です。(有料)

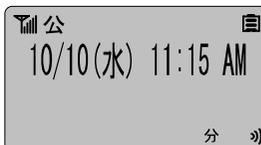
1 分計発信の設定をします。

- 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 「4: 分計発信」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。



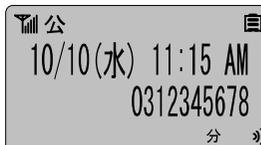
2 数秒後に待受け状態に戻ります。

- 分計発信モードであることを「分マーク」で表示します。



3 通常の発信操作をします。

- このときの通話料金は第2請求先へ請求されます。



ワンポイント

- 一度設定した分計発信モードを解除するときは、待受け画面で、 ボタンを押します。
- 分計発信モードで発信したあと、分計発信モードは解除されます。
- 発信履歴に分計発信の情報が表示されます。リダイヤルも分計発信されません。

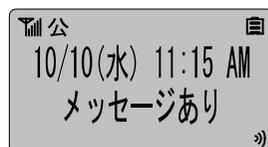
便利な使い方

留守番電話サービス

電源を切っているときや、圏外にいるときに電話がかかってきた場合、留守番電話センターで相手のメッセージを録音し、あとで聞くことができます。

ご利用に際しては、別途サービス事業者への申し込みが必要です。(有料)

- 1 公衆モードで通話を終了したときにメッセージが録音されていると、
- 「メッセージあり」と表示します。
 - 着信ランプがゆっくり点滅します。
(メッセージウェイティングランプ)



ワンポイント

- メッセージの再生などの操作については、留守番電話サービスに契約されたときのマニュアルをご覧ください。
- 「メッセージあり」の表示はメッセージを再生したあとで消えます。ただし、電源をOFFするとメッセージを再生していなくても一時的に表示されなくなります。

便利な使い方

着信拒否設定

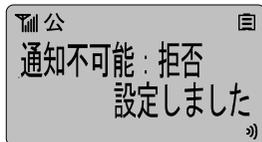
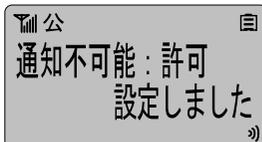
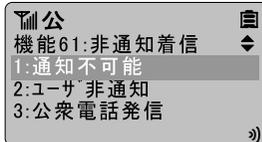
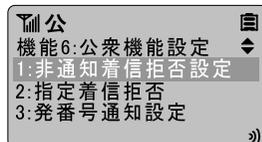
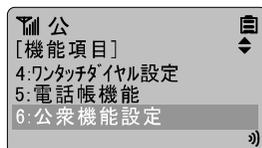
発信者番号を通知してこない電話からの電話を受けないように設定できます。発信者側が非通知設定をしているため通知できない「ユーザ非通知」、公衆電話からの発信のため通知できない「公衆電話発信」、発信者番号通知に対応していないネットワークからの電話のため通知できない「通知不可能」の3種類について着信拒否を設定できます。

1 通知不可能の設定をします。

- 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 「1: 非通知着信拒否設定」を選択し、 ボタンを押します。 または、 ボタンを押します。
- 「1: 通知不可能」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
-  ボタンで「1: 許可」「2: 拒否」を選択し、
 ボタンを押します。
または、 か  ボタンを押します。

通知不可能許可の場合

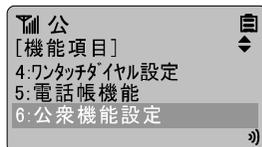
通知不可能拒否の場合



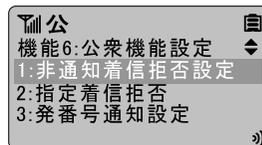
便利な使い方

2 ユーザ非通知の設定をします。

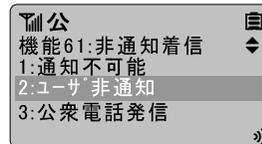
- 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。または、 ボタンを押します。



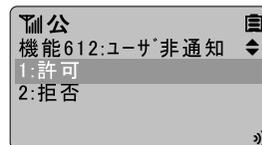
- 「1: 非通知着信拒否設定」を選択し、 ボタンを押します。または、 ボタンを押します。



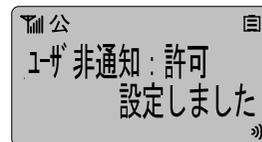
- 「2: ユーザ非通知」を選択し、 ボタンを押します。または、 ボタンを押します。



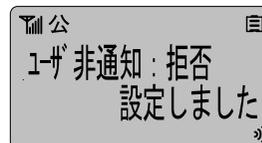
-  ボタンで「1: 許可」「2: 拒否」を選択し、 ボタンを押します。または、 か  ボタンを押します。



ユーザ非通知許可の場合



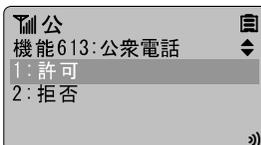
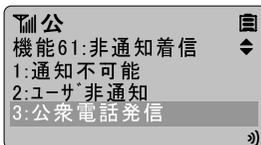
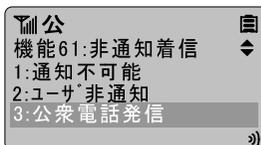
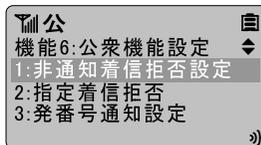
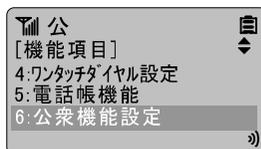
ユーザ非通知拒否の場合



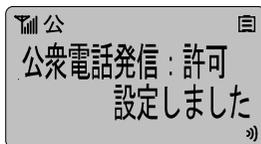
便利な使い方

3 公衆電話発信の設定をします。

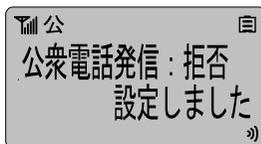
- 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 「1: 非通知着信拒否設定」を選択し、 ボタンを押します。 または、 ボタンを押します。
- 「3: 公衆電話発信」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
-  ボタンで「1: 許可」「2: 拒否」を選択し
 ボタンを押します。
または、 か  ボタンを押します。



公衆電話発信許可の場合



公衆電話発信拒否の場合



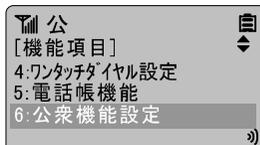
便利な使い方

指定着信拒否

迷惑電話を防止するために指定した電話番号からの電話を受けないように設定できます。(10件の電話番号を登録できます。)

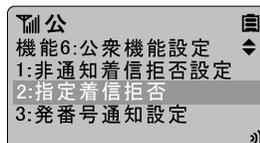
1 着信を拒否する電話番号を登録します。

- 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。

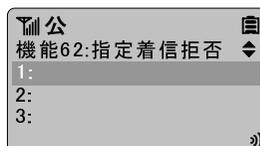


または、 ボタンを押します。

- 「2: 指定着信拒否設定」を選択し、 ボタンを押します。または、 ボタンを押します。



- 登録メモリを選択し、 ボタンを押します。



- 電話番号を入力します。



ワンポイント

- 電話番号入力時に「*」が使用できます。
例: 「070*」と登録すると「070」で始まる番号は全て着信拒否されます。
注意: 「*」は先頭には入力できません。
「*」以降にはダイヤルを入力できません。

便利な使い方

ドライブモード(安全運転モード)

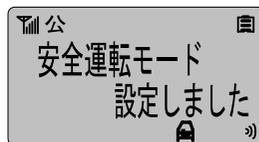
公衆モード(待受け中)に、自動車運転中など手が離せない状態のときに設定しておくことで着信があった場合に、発信者に対して電話に出ることができない旨を通知します。

ドライブモード中は、着信があったことを通知するための着信音やバイブレーションはしませんが、着信があったことをディスプレイに表示します。

なお、110、118、119からの着信に関してはその限りではありません。

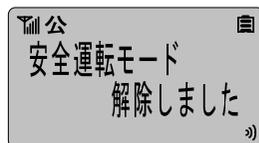
1 ドライブモードの設定

- 待ち受け画面から  ボタンを1秒以上押しします。



2 ドライブモードの解除

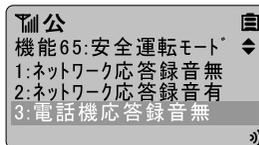
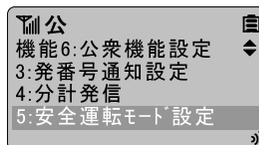
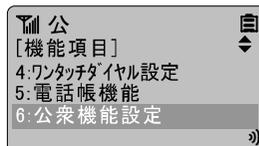
- 待ち受け画面から  ボタンを1秒以上押しします。



また付随してネットワーク応答及び電話機応答を可否設定することができます。ネットワーク応答のご利用に際しては、別途サービス事業者申し込みが必要です。(有料)

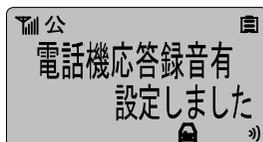
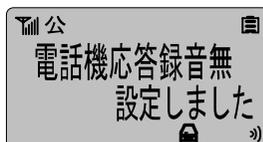
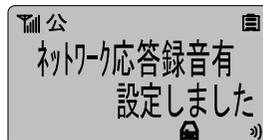
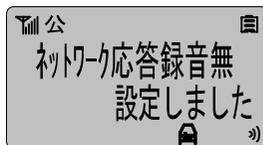
3 安全運転モードの設定をします。

- 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 「5: 安全運転モード設定」を選択し、 ボタンを押します。または、 ボタンを押します。
- 設定するモードを選択し、 ボタンを押します。
または、 ~  ボタンを押します。



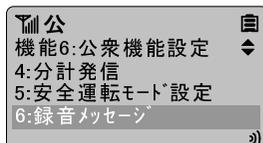
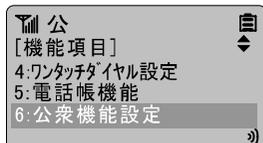
便利な使い方

- ネットワーク応答録音無しの場合。
- ネットワーク応答録音有りの場合。
- 電話機応答録音無しの場合。
- 電話機応答録音有りの場合。



4 録音メッセージの再生・消去をします。

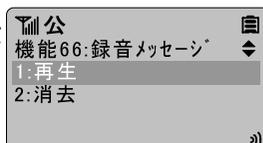
- 待ち受け画面から を押します。
- 「6: 公衆機能設定」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 「6: 録音メッセージ」を選択し、 ボタンを押します。 または、 ボタンを押します。



※新規メッセージが登録されている場合、メッセージの再生が開始されません。

一度メッセージを聞いた後は、下記の操作で再生・消去します。

- 「1:再生・2:消去」を選択し、 ボタンを押します。または、 か ボタンを押します。



※録音メッセージが存在しない場合、上記選択はできません。

トランシーバモードでの使い方

● 電話をかける	44
電話をかける	44
● 電話を受ける	45
着信を受ける	45

- トランシーバモードで通話ができるのは2台ずつ1組です。同時に3人で通話できません。
- トランシーバモードで通話ができるのは、見通し距離で約50mの範囲です。
- トランシーバモードでは、電話帳、発信／着信履歴、ワンタッチダイヤルがご利用できません。
- トランシーバの内線番号は、待機画面上に表示されます。
- トランシーバ通話では、通話時間は約3分です。

トランシーバモードでの使い方

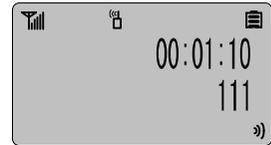
電話をかける

電話をかける

- 1 電話番号を押します。



- 2  ボタンを押します。
 - しばらくして  ボタンが緑点灯します。
- 3 相手が応答すると通話時間表示になります。



相手がでたら通話ができます。



ワンポイント

-  ボタンを押してからダイヤルしても発信することができます。



お知らせ

- トランシーバモードでは電話帳、発信／着信履歴を使った発信をご利用できません。

電話を受ける

着信を受ける

着信中に発信／応答ボタンを押すと、電話に応答できます。

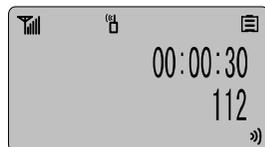
1 着信中

-  ボタンが緑点滅します。



2 ボタンを押します。

-  ボタンが緑点灯します。



相手と通話ができます。

※ トランシーバモードでは、電話帳に電話番号が登録されていても、登録されている名前を表示しません。

電話帳を使う

• 電話帳を使う	47
電話帳に登録する	47
電話帳に登録する(着信／発信履歴から登録する)	49
電話番号の検索	51
電話帳から発信する(付加ダイヤルを使用する)	52
電話帳を編集する	53
電話帳から削除する	55
大きな文字を使用する	57

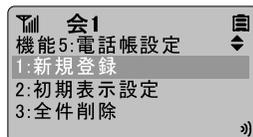
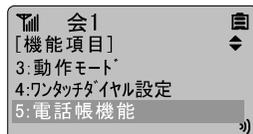
電話帳を使う

電話帳に登録する

全角8文字(半角16文字)の名前、半角カタカナ12文字の読み仮名および2件の電話番号を設定できる電話帳を最大400件まで登録することができます。

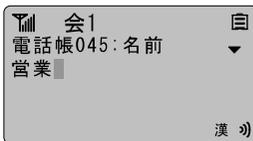
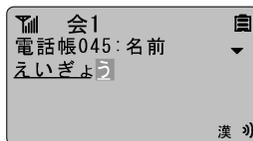
電話帳の起動

- 1 待ち受け画面から  ボタンを押します。
- 2 「5:電話帳機能」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。
- 3 「1:新規登録」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。



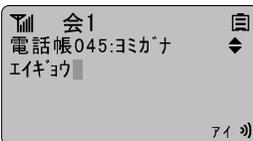
名前の登録

- 1  ~  ボタンで名前を入力します。
※1文字消す時は  ボタンを押します。
- 2  ボタンで漢字に変換、 ボタンで決定します。
- 3  ボタンまたは  ボタンで読み仮名登録に進みます。



読み仮名の登録

- 1 名前入力時の情報がカタカナで入力されています。
- 2  ~  ボタンで読み仮名を編集します。
- 3  ボタンまたは  ボタンで決定します。



電話番号1の登録

1 ~ ボタンで電話番号を入力します。

2  ボタンまたは  ボタンで決定します。

※電話番号1に登録しない場合は電話番号2の登録に進みます。

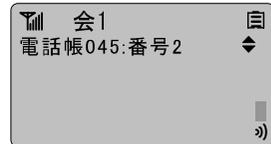


電話番号2の登録

1 ~ ボタンで電話番号を入力します。

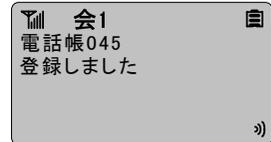
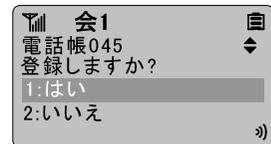
2  ボタンまたは  ボタンで決定します。

※電話番号2に登録しない場合は保存に進みます。



保存

1 「1:はい」を選択し、 ボタンで決定します。



登録が完了しました。

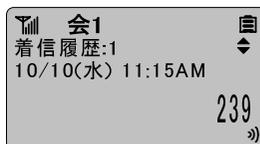
電話帳を使う

電話帳に登録する(着信／発信履歴から登録する)

着信履歴および発信履歴から電話帳に登録することができます。

「着信履歴」から登録したい電話番号を選択します。

- 1  ボタンを押します。
- 2  ボタンで決定します。



「発信履歴」から登録したい電話番号を選択します。

- 1  ボタンを押します。
- 2  ボタンで決定します。



電話帳登録モードの起動

- 1 「2:電話帳登録」を選択し、 ボタンを押します。



登録モードの選択

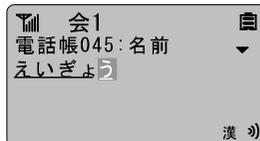
- 1 「1:新規登録」を選択し、 ボタンを押します。



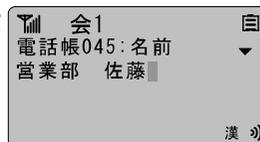
名前の登録

- 1 ~ ボタンで名前を入力します。

※1文字消す時は ボタンを押します。



- 2  ボタンで漢字に変換、 ボタンで決定します。

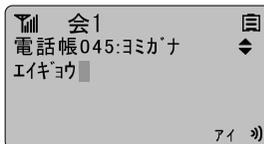


- 3  ボタンまたは  ボタンで読み仮名登録に進みます。

電話帳を使う

読み仮名の登録

1 名前入力時の情報がカタカナで入力されています。



2 ~ ボタンで読み仮名を編集します。

3  ボタンまたは  ボタンで決定します。

番号1の確認

1 番号1に登録する電話番号を確認し

 ボタンまたは  ボタンを押します。



番号2の登録

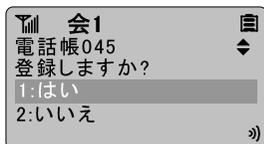
1 ~ ボタンで番号2に登録する電話番号を入力します。

2  ボタンまたは  ボタンで名前登録に進みます。



保存

1 「1:はい」を選択し、 ボタンで決定します。



登録が完了しました。

電話帳を使う

電話番号の検索

電話帳に登録してある電話番号を「メモリ番号」または「名前」から検索できます。

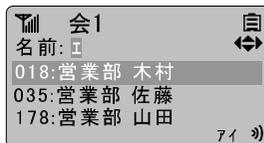
電話帳の起動

- 1 待ち受け画面から  ボタンを押します。



名前から検索

- 1  あ ~  ボタンで読み仮名を入力し  ボタンで決定します。または  ボタンで相手を選びます。



メモリ番号から検索

- 1  ボタンでメモリ番号検索モードに切り替えます。



- 2  あ ~  ボタンでメモリ番号を入力します。

- 3  ボタンで決定します。



電話帳機能が使用できます。



ワンポイント

- 電話帳モードを起動したときに、名前検索またはメモリ番号検索のどちらを起動するか選択することができます。
機能52初期表示設定で選択してください。
-  ボタンで名前検索とメモリ番号検索を切り替えることができます。

電話帳を使う

電話帳から発信する(付加ダイヤルを使用する)

電話帳からの発信または発信/着信履歴からの発信時に「184」等のダイヤルを付加することができます。

かけたい相手の選択

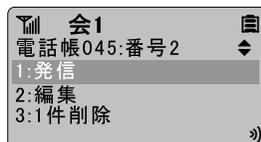
1 電話帳機能でかけたい相手を検索します。

2 番号を選択し、 ボタンで決定します。



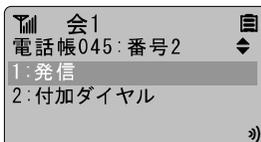
発信機能の呼び出し

1 「1:発信」を選択し、 ボタンを押します。



付加ダイヤルの選択

1 「2:付加ダイヤル」を選択し、 ボタンを押します。



付加ダイヤルの選択

※「184」の付加した場合

1 「1:184」を選択し、 ボタンを押します。



ワンポイント

- 発信履歴/着信履歴からも同じ操作で発信できます。
※184/186以外に2件の付加ダイヤルを設定することができます。
機能36付加ダイヤル設定を参照ください。

電話帳を使う

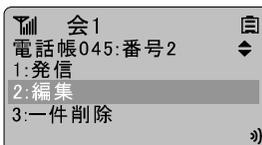
電話帳を編集する

電話帳に登録されているデータを編集することができます。

1 電話帳機能で編集したいデータを検索します。



2 番号を選択し、 ボタンで決定します。

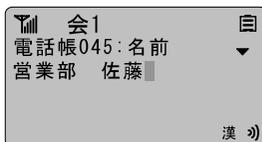


3 「2:編集」を選択し、 ボタンを押します。

4 名前の編集を行います。

 ボタン  あ ~  わをん ボタンで編集します。

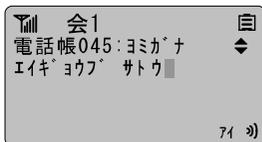
編集が完了したら  ボタンを押します。



5 読み仮名の編集を行います。

 ボタン  あ ~  わをん ボタンで編集します。

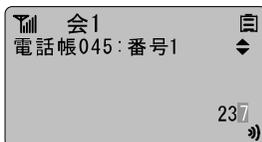
編集が完了したら  ボタンを押します。



6 番号1の編集を行います。

 ボタン  あ ~  わをん ボタンで編集します。

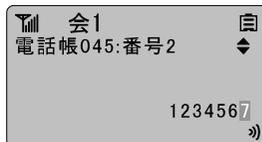
編集が完了したら  ボタンを押します。



7 番号2の編集を行います。

 ボタン  あ ~  わをん ボタンで編集します。

編集が完了したら  ボタンを押します。



8 「1:はい」を選択し、 ボタンで決定します。

会1
電話帳045
登録しますか?
1:はい
2:いいえ

会1
電話帳045
登録しました

編集が完了しました。

電話帳を使う

電話帳から削除する

電話帳に登録されているデータを削除することができます。

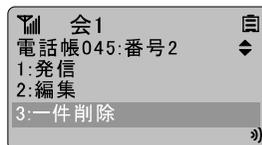
一件削除

1 電話帳機能で削除したい番号を検索します。

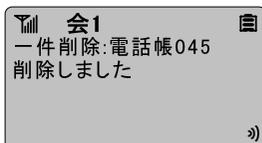
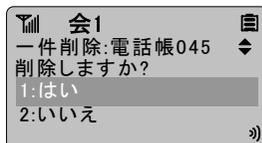


2  ボタンで決定します。

3 「3:一件削除」を選択し、 ボタンを押します。



4 「1:はい」を選択し、 ボタンを押します。



一件削除が完了しました。

電話帳を使う

大きな文字を使用する

大きな文字サイズを指定することができます。

表示内容は以下ようになります。

※大きな文字の設定方法につきましては、

P79の「機能823」を参照願います

電話帳(名前一覧)



電話帳(メモリ番号一覧)



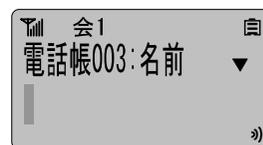
電話帳(名前検索)



電話帳1件表示



電話帳(登録)



Simpleメールを使う

● メール の 使い 方	59
メール を 読 む	59
メール を 保 護 す る (保 護 を 解 除 す る)	60
メール を 削 除 す る	61
メール を 返 信 す る	62
メール を 作 成 す る	63

Simpleメールについて

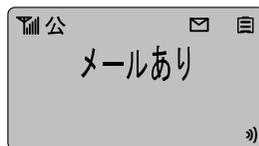
- Simple メールをご利用には、別途サービス事業者への申し込みが必要です。
- Simpleメールは端末間で直接送受信される文字伝送サービスです。
- 全角45文字(半角90文字)まで送受信できます。
- 公衆モードでのメール機能が一部使用できます。
(絵文字等の機能はご利用できません。)

メールの使い方

メールを読む

受信したメールを読みます。

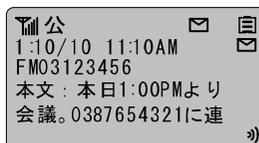
1 メール到着画面。



2  ボタンを押します。

3 メールタイトルを表示します。

- 到着日時
- 未読／既読
- 送信者
- 本文(表示できるだけ)



 ボタンを押し、本文を表示します。

4 本文を表示します。



※待ち受け画面が「メールあり」を表示していない

場合、 ボタンでメニューを表示します。



ワンポイント

- 受信10件、送信10件のメールを保存します。
- 10件以上の送受信を行った場合、古い順に上書きされます。
- メールに保護をかけると、上書きされることを防止できます。(メール保護は最大9件までかけることができます。)
- メール本文に電話番号が入っている場合、本文表示から電話番号を選択し、電話をかけることができます。また電話帳登録、メール作成を行うことができます。
- メール表示は未読メールがある場合に表示します。

メールの使い方

メールを保護する(保護を解除する)

送信・受信したメールを保護することができます。

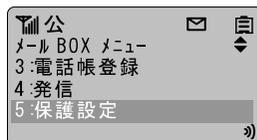
10件以上の送信・受信時に上書き保存されることを防止できます。

1 メール本文を表示した状態で  ボタンを押します。

ます。

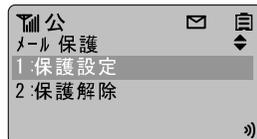
2 「5:保護設定」を選択し、 ボタンを押します。

または、 ボタンを押します。

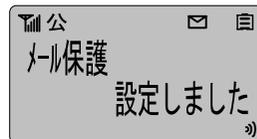


3 「1:保護設定」を選択し、 ボタンを押します。

または、 ボタンを押します。



※ 保護設定を設定すると、保護メールが表示され
ます。

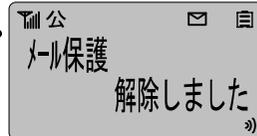


4 3の設定時に「2:保護解除」を選択し、 ボタ

ンを押します。または、 ボタンを押します。



※ 保護設定されていても、消去操作は実行されます。



メールの使い方

メールを削除する

送信・受信したメールを削除します。

一件削除

1 メール本文を表示した状態で  ボタンを押します。

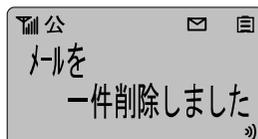
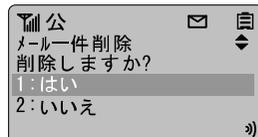
2 「6:一件削除」を選択し、 ボタンを押します。

または、 ボタンを押します。



3 「1:はい」を選択し、 ボタンを押します。

または、 ボタンを押します。



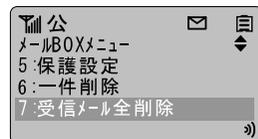
送信・受信メール全削除

1 メール本文を表示した状態で  ボタンを押します。

2 「7:受信メール全削除」を選択し、 ボタンを押し

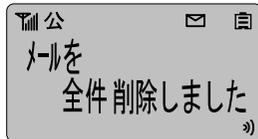
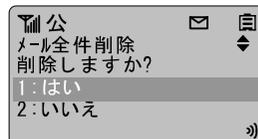
ます。

または、 ボタンを押します。



3 「1:はい」を選択し、 ボタンを押します。

または、 ボタンを押します。



メールの使い方

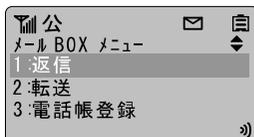
メールを返信する

受信したメールに返信することができます。

1 メール本文を表示した状態で  ボタンを押します。

2 「1:返信」を選択し、 ボタンを押します。

または、 ボタンを押します。



3 「To:」を確認します。

変更する場合は、 ボタンを押して編集します。

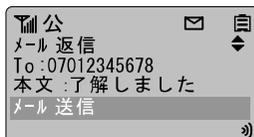


4 「本文:」を選択し、 ボタンを押して本文を作成します。

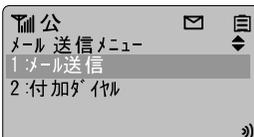
作成完了したら  ボタンを押して返信メニューに戻ります。



5 「メール送信」を選択し、 ボタンを押します。



6 「1:メール送信」を選択し、 ボタンを押して送信します。



7 メールを返信しました。

- * 同様の操作でメールの転送ができます。
- * 送信BOXからメールの再送ができます。



メールの使い方

メールを作成する

メールを新規作成します。

- 1  ボタンを押します。
「3:新規作成」を選択し、 ボタンを押します。
または、 ボタンを押します。



- 2 送信先を入力します。

- 「To:」を選択し、 ボタンを押します。
「1:電話帳検索」を選択した場合、電話帳に登録してある電話番号を選択します。
「2:直接入力」を選択した場合、送信する相手の電話番号を直接入力します。



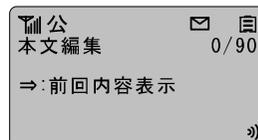
- 3 本文を入力します。

「本文:」を選択し、 ボタンを押します。

・全角45文字(半角90文字)の本文を作成することができます。

- ・ ボタンを押すことで前回内容を編集することができます。
- ・そのまま入力を開始すると本文の新規作成が可能です。

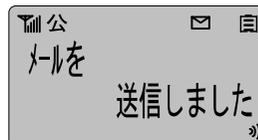
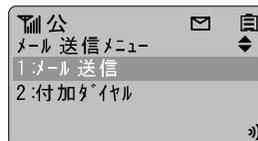
・本文の入力が完了したら  ボタンを押します。



- 4 メールを送信します。

「1:メール送信」を選択し、 ボタンを押します。

- 5 メールを送信しました。



機能設定方法

● 機能設定方法	65
機能モードの使い方	65
機能モード一覧表	66
● 機能設定	70
文字入力一覧表	70
自局番号表示(機能0)	71
発信モード確認(機能10)	71
発信モード設定(機能110~158)	71
パスワードロックの設定・解除(機能2)	72
動作モード選択(機能30)	72
動作モードの詳細設定(機能31~33)	73
着信音種の設定(機能34)	74
着信自動応答回数の設定(機能35)	74
付加ダイヤル設定(機能36)	75
ワンタッチダイヤルの設定(機能4)	76
電話帳機能の設定(機能5)	76
公衆機能の設定(機能6)	76
パスワードの設定(機能81)	77
LCDコントラストの設定(機能821)	78
バックライト点灯時間の設定(機能822)	78
LCD表示サイズの設定(機能823)	79
圏外警告音の設定(機能83)	79
時計の設定(機能840)	80
アラームの設定(機能841、842)	80
マイネームの設定(機能85)	81
全設定初期化(機能89)	81
発信／着信履歴(機能91、92)	81

機能設定方法

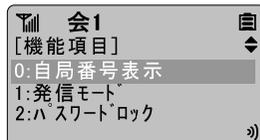
機能モードの使い方

待ち受け状態で  ボタンを押すと、機能メニュー表示となります。

機能メニュー表示から項目番号を選ぶことで、各種機能の設定／変更をすることができます。

機能メニュー表示

1 待ち受け画面から  ボタンを押します。



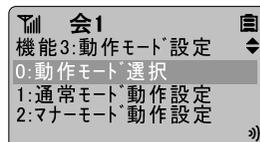
各機能メニュー表示

2  ~  ボタンで機能番号を入力するか、 (例) 動作モード設定

 ボタンで機能を選択し、

 ボタンを押します。

※元の表示に戻るときは  ボタンを押します。



機能設定の実行

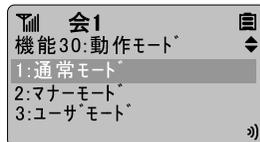
3  ~  ボタンで設定番号を入力するか、 (例) 動作モード選択

 ボタンで設定内容を選択し、

 ボタンを押します。

※元の表示に戻るときは  ボタンを押します。

※現在の設定内容が反転して表示されます。



設定内容の保存

4  ボタンを押すと、表示中の設定が登録されます。

機能設定方法

機能モード一覧表

機能番号	項目	内容	初期設定
0	自局番号表示		
0	自局電番表示	公衆、会社1～8の自局番号を表示します。	(登録なし)
1	発信モード		
1	0 発信モード確認	現在の発信モードを表示します	—
1	1 自営発信モード	自営発信モードを設定します。	会社1
1	1 0 自動待ち受けモード	会社1～8を切替える機能(1面待ち)	—
1	1 1 会社1モード	会社1の1面待ちに設定します	—
1	1 2 会社2モード	会社2の1面待ちに設定します	—
1	1 3 会社3モード	会社3の1面待ちに設定します	—
1	1 4 会社4モード	会社4の1面待ちに設定します。	—
1	1 5 会社5モード	会社5の1面待ちに設定します。	—
1	1 6 会社6モード	会社6の1面待ちに設定します。	—
1	1 7 会社7モード	会社7の1面待ちに設定します。	—
1	1 8 会社8モード	会社8の1面待ちに設定します。	—
1	2 トランシーバモード	トランシーバ発信モードを設定します。	—
1	2 1 トランシーバ1モード	トランシーバ1の1面待ちに設定します。	—
1	2 2 トランシーバ2モード	トランシーバ2の1面待ちに設定します。	—
1	2 3 トランシーバ3モード	トランシーバ3の1面待ちに設定します。	—
1	2 4 トランシーバ4モード	トランシーバ4の1面待ちに設定します。	—
1	2 5 トランシーバ5モード	トランシーバ5の1面待ちに設定します。	—
1	2 6 トランシーバ6モード	トランシーバ6の1面待ちに設定します。	—
1	2 7 トランシーバ7モード	トランシーバ7の1面待ちに設定します。	—
1	2 8 トランシーバ8モード	トランシーバ8の1面待ちに設定します。	—
1	3 公衆発信モード	公衆の1面待ちに設定します。	—
1	4 2面モード(自営優先)	公衆、自営の2面待ちに設定します。	—
1	4 1 会社1、公衆モード	会社1、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	4 2 会社2、公衆モード	会社2、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	4 3 会社3、公衆モード	会社3、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	4 4 会社4、公衆モード	会社4、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	4 5 会社5、公衆モード	会社5、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	4 6 会社6、公衆モード	会社6、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	4 7 会社7、公衆モード	会社7、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	4 8 会社8、公衆モード	会社8、公衆の2面待ちに設定します。	—
1	5 2面モード(公衆優先)	公衆、自営の2面待ちに設定します。	—
1	5 1 公衆、会社1モード	公衆、会社1の2面待ちに設定します。	—
1	5 2 公衆、会社2モード	公衆、会社2の2面待ちに設定します。	—
1	5 3 公衆、会社3モード	公衆、会社3の2面待ちに設定します。	—
1	5 4 公衆、会社4モード	公衆、会社4の2面待ちに設定します。	—
1	5 5 公衆、会社5モード	公衆、会社5の2面待ちに設定します。	—
1	5 6 公衆、会社6モード	公衆、会社6の2面待ちに設定します。	—
1	5 7 公衆、会社7モード	公衆、会社7の2面待ちに設定します。	—
1	5 8 公衆、会社8モード	公衆、会社8の2面待ちに設定します。	—

機能設定方法

機能番号	項目	内容	初期設定		
2	パスワードロック				
2	パスワードロック	パスワードロックを設定できます。	ロック解除		
3	動作モード				
3	0	動作モード選択	通常・マナー・ユーザの3種類	通常	
3	1	通常モード	通常動作モードの設定を行います。		
3	1	1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	中
3	1	2	バイブレータ	切・入	切
3	1	3	キータッチトーン	キー操作時の確認音(切・入)	入
3	1	4	受話音量	小・中・大の3段階	大
3	1	5	メール送達確認音	切・入	入
3	2	マナーモード	マナーモードの設定を行います。		
3	2	1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	切
3	2	2	バイブレータ	入・切	入
3	2	3	キータッチトーン	キー操作時の確認音(切・入)	切
3	2	4	受話音量	小・中・大の3段階	中
3	2	5	メール送達確認音	入・切	切
3	3	ユーザモード	ユーザモードの設定を行います。		
3	3	1	着信音量	切・小・中・大・漸増の5段階	大
3	3	2	バイブレータ	入・切	入
3	3	3	キータッチトーン	キー操作時の確認音(切・入)	入
3	3	4	受話音量	小・中・大の3段階	大
3	3	5	メール送達確認音	入・切	入
3	4	着信音種	16種類の鳴動音を選択できます。		
3	4	1	会社	会社の鳴動音を設定します。	1
3	4	2	トランシーバ	トランシーバの鳴動音を設定します。	4
3	4	3	公衆	公衆の鳴動音を設定します。	5
3	4	4	メール着信音	メール着信の鳴動音を設定します。	3
3	5	着信自動応答回数	イヤホン装着時に自動応答する場合の鳴動回数を設定します。	0回 自動応答無	
3	6	付加ダイヤル設定	発信時に使用する付加ダイヤル登録します。 (例: 184、186、0発信)	(登録なし)	

機能設定方法

機能番号	項目	内容	初期設定
4	ワンタッチダイヤル設定		
	ワンタッチダイヤル設定(F1～F8)	ワンタッチダイヤルの電話番号、名前を設定します。	—
5	電話帳機能		
5	1	新規登録 400件までの電話帳を登録します。 全角8文字(半角16文字)までの名前 (登録なし) カタカナ12文字までの読み仮名 (登録なし) 電話番号1:32桁までのダイヤル (登録なし) 電話番号2:32桁までのダイヤル (登録なし)	
5	2	初期表示設定 電話帳モードを起動したときに名前検索あるいはメモリ番号検索のいずれかのモードを設定します。	名前検索
5	3	全件削除 全ての電話帳を削除します。	—
6	公衆機能設定		
6	1	非通知着信拒否設定 公衆モードで発信者番号非通知の着信拒否を設定します。	
6	1	1 通知不可能 発信者番号が通知不可能な場合の設定	許可
6	1	2 ユーザ非通知 ユーザ非通知の場合の設定	許可
6	1	3 公衆電話発信 公衆電話による発信の場合の設定	許可
6	2	指定着信拒否 指定した番号からの着信拒否を設定します。(10件)	(登録なし)
6	3	発番号通知設定 公衆モードの発信時に発番号の通知・非通知を設定します。	通知する
6	4	分計発信 分計発信時に設定をします。	—
6	5	安全運転モード設定 ドライブモードが設定されている状態でボイスメールを起動するか否かの設定をします。	
6	5	1 ネットワーク応答録音無 ネットワークで応答し、録音はしません。	初期設定
6	5	2 ネットワーク応答録音有 ネットワークで応答し、録音します。	—
6	5	3 電話機応答録音無 電話機が応答し、録音はしません。	—
6	5	4 電話機応答録音有 電話機が応答し、録音します。	—
6	6	録音メッセージ 録音されたメッセージの再生・消去をします	—

機能設定方法

機能番号	項目	内容	初期設定		
8	保守機能				
8	1	パスワード設定	パスワードロックおよび全設定初期化に使用するパスワードを設定します。	0000	
8	2	LCD設定	LCDの各種設定を行います。		
8	2	1	LCDコントラスト	LCDコントラストの調整を行います。	中
8	2	2	バックライト点灯時間	0~60秒で設定可能	10秒
8	2	3	LCD表示サイズ	電話帳操作時に表示する文字サイズを大・小から選択できます。	小
8	3	圏外警告音設定	通話時に圏外になったときの警告音の有無を設定します。	入	
8	4	時計/アラーム	カレンダー時刻、各種アラームを設定します。		
8	4	0	カレンダー時刻設定	年・月・日・時・分を設定します。	2008年1月1日 00時00分 火曜日
8	4	1	アラーム1設定	設定時刻にアラームを鳴動します。	00時00分 切
8	4	2	アラーム2設定	設定時刻にアラームを鳴動します。	00時00分 切
8	5	マイネーム	会社・公衆モードで待受けの際マイネーム表示の有無を設定します。	(設定なし)	
8	9	完全消去+初期化	機能モード内の全設定データおよび発信／着信履歴、電話帳、メール送受信データを工場出荷状態に戻します。 ※会社・公衆モードの登録情報は消去されません。	—	
9	履歴表示				
9	1	発信履歴	20件までの発信を記憶し、履歴情報からダイヤルまたは電話帳への登録ができます。	—	
9	2	着信履歴	20件までの着信を記憶し、履歴情報から発信または電話帳への登録ができます。	—	

機能設定

文字入力一覧表

設定モード、電話帳登録で文字を入力するときの、各入力モードにおけるボタンと文字の対応を表わします。

ボタン名称	漢字／かなモード	全角カタカナモード	半角カタカナモード	全角英字モード	半角英字モード	数字モード	記事
1	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエオ アイウエオ	1. , - : ; ' ” ! # \$ % & () * + / < = > ? @	1. , - : ; ' ”! # \$ % & () * + / < = > ? @	1	
2	かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	ABCabc2	ABCabc2	2	
3	さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	DEFdef3	DEFdef3	3	
4	たちつてと っ	タチツテト ッ	タチツテト ッ	GHIghi4	GHIghi4	4	
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	JKLjkl5	JKLjkl5	5	
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	MNO mno6	MNO mno6	6	
7	まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	PQRS pqrs7	PQRS pqrs7	7	
8	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv8	TUV tuv8	8	
9	らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	WXYZ wxyz9	WXYZ wxyz9	9	
0	わをん	ワワン	ワワン	0	0	0	
#	記号	記号	記号	記号	記号	#	
*	**	**	**	—	—	*	
クリア	一文字クリア(1秒以上長く押すと一項目すべてクリア)						クリア
決定	文字決定／入力終了						
上	カーソルを1行上						
下	カーソルを1行下						
右	カーソルを右に移動						
左	カーソルを左に移動						
文字	文字の入力モード切替 (かな・漢字／全角カタカナ／半角カタカナ／全角英字／半角英字／数字)						

※発信時に“ポーズダイヤル”を入力する場合、

“*キー”を1秒以上長く押すことで入力できます。

※文字入力時に  ボタンを押すことで

通常 あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お と変換されるのを

あ→「通話キー」→お→え→う→い→あ→お→え・・・とします。

一文字確定毎に通常動作に戻ります。

※文字入力時に  ボタンを押すと“改行”が入力できます。

機能設定

自局番号表示(機能0)

公衆、会社1～会社8の自局番号を表示します。

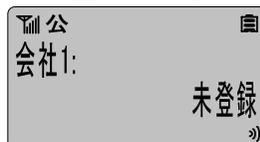
1  ボタン + 「機能番号」を押します。

2  ボタンで表示を切り替えます。

※ 会社の登録番号がトランシーバの番号として使用できます。



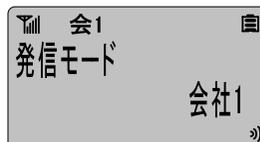
(未登録の場合)



発信モード確認(機能10)

現在の発信モードが確認できます。

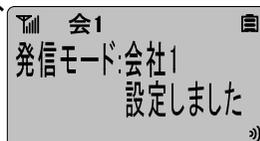
1  ボタン + 「機能番号」を押します。



発信モード設定(機能110～118、121～128、13、141～148、151～158)

会社1～会社8、トランシーバ1～8、公衆、2面(自営優先)、2面(公衆優先)に発信モードが設定できます。

1  ボタン + 「機能番号」を押します。

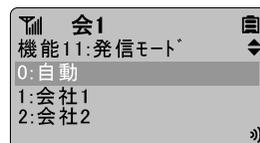
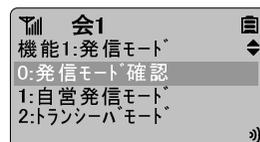


メニューから設定する場合

1 メニューで「発信モード」を選択します。

2  ボタンで発信モードを選択します。

3  ボタンで決定します。



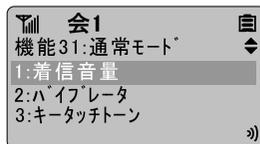
機能設定

動作モードの詳細設定(機能31~33)

それぞれの動作モード時の着信音量／バイブレータ／キータッチトーン／受話音量が設定できます。

- 1  ボタン+「機能番号」を押します。

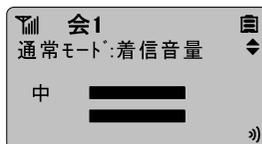
※変更する動作モードの機能番号を入力します。



着信音量の設定

- 1  ボタンで着信音量を選択します。
(切／小／中／大／漸増)

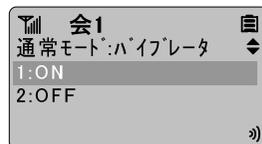
- 2  ボタンで決定します。



バイブレータの設定

- 1  ボタンで「ON／OFF」を選択します。
※現在の設定内容が反転して表示されます。

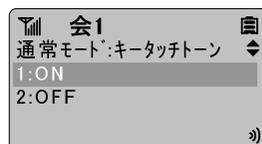
- 2  ボタンで決定します。



キータッチトーンの設定

- 1  ボタンで「ON／OFF」を選択します。
※現在の設定内容が反転して表示されます。

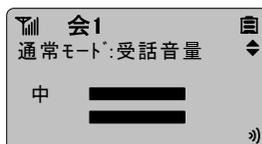
- 2  ボタンで決定します。



受話音量の設定

- 1  ボタンで受話音量を選択します。
(小／中／大)

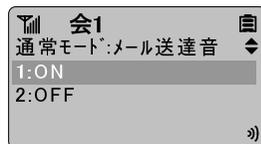
- 2  ボタンで決定します。



機能設定

メール送達音の設定

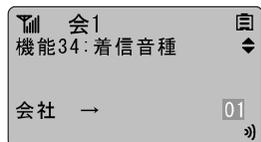
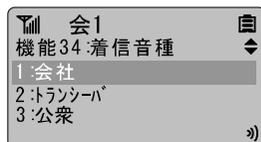
-  ボタンで「ON/OFF」を選択します。
※現在の設定内容が反転して表示されます。
-  ボタンで決定します。



着信音種の設定(機能34)

会社、公衆、トランシーバ、メールの各発信モードにおける着信音を16種類の中から選ぶことができます。

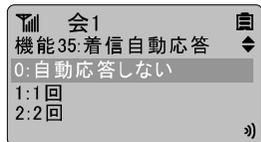
-  ボタン+ 「機能番号」を押します。
※変更する着信種別を選択します。
-  ボタンで音種を選択します。
※音種番号は「01」～「16」で選択できます。
選択する毎にスピーカから鳴動音が出ます。
-  ボタンで決定します。



着信自動応答回数の設定(機能35)

イヤホンマイクを使っているときに限り、着信に自動応答することができます。また、自動応答するまでの呼出音の回数を設定できます。

-  ボタン+ 「機能番号」を押します。
-  ボタンで動作モード/回数を選択します。
※呼出音の回数は「1回」～「9回」で選択できます。
-  ボタンで決定します。



機能設定

付加ダイヤル設定(機能36)

発信時の付加ダイヤルをオリジナルデータとして2つ登録(1件につき最大8桁)できます。

1  ボタン+ 「機能番号」を押します。

2  ボタンで「1/2」を選択します。

3  ~  ボタンで付加するダイヤルを登録します。

4  ボタンで決定します。



※付加ダイヤルは電話帳に登録したダイヤルとあわせて32桁まで使用できません。

機能設定

ワンタッチダイヤルの設定(機能4)

ワンタッチダイヤルを設定することができます。
電話番号と共に名前も登録できます。
名前は全角8文字(半角16文字)まで登録できます。

1  ボタン+ 「機能番号」を押します。

2  ボタンで設定するワンタッチボタンを

選択し、 ボタンを押します。

(または、 ~  ボタンを押します。)

3  ボタンで「1:編集」を選択し

 ボタンで決定します。

4  ~  ボタンで名前を入力します。

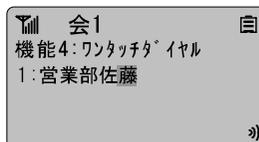
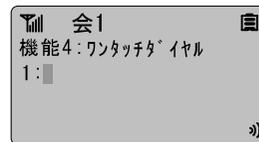
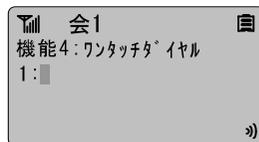
※全角8文字(半角16文字)まで入力可能です。

5  ボタンで決定します。

6  ~  ボタンで電話番号を入力します。

※32桁まで入力可能です。

7  ボタンで決定します。



電話帳機能の設定(機能5)

電話帳機能の設定につきましては、「電話帳を使う」をご覧ください。

公衆機能の設定(機能6)

公衆機能の設定につきましては、「公衆モードでの使い方」をご覧ください。

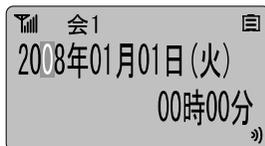
※ 公衆モードは、「シングルラインコードレス電話機」ごとにサービス事業者との契約が必要です。

機能設定

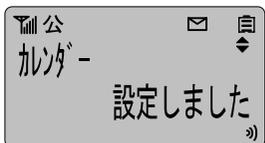
時計の設定(機能840)

電話機の日付、時刻を設定することができます。

- 1  ボタン+ 「機能番号」を押します。
- 2  ~  ボタンで時計データを入力します。
※西暦、月、日、時、分の順序で入力します。
曜日は自動的に入力されます。



- 3  ボタンで決定します。



ワンポイント

- 決定を押した時に、秒の単位を0秒に設定します。

アラームの設定(機能841、842)

設定した時刻になるとアラームが鳴る機能を2時刻設定できます。

- 1  ボタン+ 「機能番号」を押します。
- 2 「2:設定」を選択し、 ボタンを押します。
- 3  ~  ボタンでアラーム時刻を入力します。
※初期値は「00時00分」が設定されています。
例: 午後3時15分のときは「1515」と入力します。



- 4  ボタンで決定します。

機能設定

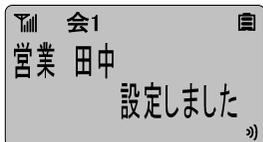
マイネームの設定(機能85)

会社・公衆モードで表示する名前(マイネーム)を設定できます。

1  ボタン+「機能番号」を押します。

2  ~  ボタンで名前を入力します。
※全角 8 文字(半角16文字)まで入力できます。

3  ボタンで決定します。



全設定初期化(機能89)

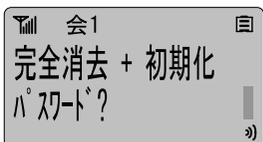
機能モード内の全設定データおよび発信／着信履歴、電話帳、メール送受信データを工場出荷状態に戻します。

1  ボタン+「機能番号」を押します。

2  ~  ボタンでパスワードを数字 4 桁で入力します。

3  ボタンで初期化します。

※パスワードの初期値は「0000」です。



発信／着信履歴(機能91、92)

発信／着信履歴の使用方法につきましては、「会社モードでの使い方」、「電話帳を使う」をご覧ください。

その他

- 困ったときには 83
- 索引 84
- 主な仕様 86

困ったときには

「故障かな？」と思われるときには、下の表に示す項目の確認をしてみてください。確認をしても改善されないときや、下の表にない症状の場合は、当社のサービス取扱所におたずねください。

故障かなと思われる症状	確認事項
まったく動作しない	電源はOFFになっていませんか？ 充電器の電源アダプタのコードは抜けていませんか？ 電池は正しくセットされていますか？ 電池は充電されていますか？ 電池は消耗していませんか？
着信音が鳴らない	着信音量は切になっていませんか？ 接続装置から離れすぎていませんか？
発信ボタンを押しても発信音が聞こえない	接続装置から離れすぎていませんか？ ディスプレイに「圏外」と表示されていませんか？
通話中に音声が途切れたり、雑音が入る	接続装置から離れすぎていませんか？ 近くに家電製品やOA機器などありませんか？ 接続装置との間にコンクリート壁などの障害物はありませんか？ アンテナの向きを変えたり、場所を移動すると良くなりませんか？
規定時間以上充電しても使用できない	本商品と充電器の充電端子は汚れていませんか？ 電源アダプタは正しく接続されていますか？ 電池が寿命になっていませんか？
電話がかかけられない	発信モードは正しくセットされていますか？ キーロック、またはパスワードロックが設定されていませんか？

索引

あ	
アラーム	2, 80
安全運転モード	41
安全にお使いいただくために 必ずお読みください	i
アンテナ	4
アンテナサーチ	28
イヤホンマイク(コネクタ)	5, 10
上ボタン	6
大きな文字	57
応答ボタン	5
音量調節	12
音量表示	9
か	
会社モード	2, 14
外線	20
各部の名称	4
機能メニュー	65
切ボタン	5
キータッチトーン	28, 73
キーロック	13
クリアボタン	5
圏外警告音(アラーム)	11, 79
圏外表示	8
ケーブル	5, 15, 16, 17
公衆電話発信	37, 39
公衆モード	2, 7, 14, 30
さ	
雑音	11
サブアドレス	31
自局番号	13, 71
下ボタン	6
充電異常	8
充電器	3
充電端子	4, 17
充電方法	14
充電ランプ	15
受信電界強度表示	7
受話音量	12
受話口	4
初期化	81
シングルラインコードレス電話機	3
スピーカー	5
設置	11

た	
ダイヤルボタン	5
着信	23, 33
着信音種	74
着信音量	6, 12, 28, 73
着信拒否	37
着信自動応答	74
着信ランプ	4
着信履歴	6, 27, 49, 52, 81
中央ボタン	6
通知不可能	37
通話可能範囲	11
通話時間	14
転送	25, 29, 62
ディスプレイ	4, 7
電界強度	7
電源アダプタ	3
電源「入」「切」	12
電源ボタン	5
電池残量表示	8
電池パック	3, 14, 16, 18
電池パックの交換	16
電話帳	6, 22, 47
電話帳検索	63
電話帳登録	49
電話帳編集	53
電話帳削除	55
動作モード	28, 72
登録	13
時計	80
ドライブモード	5, 9, 41
トランシーバモード	2, 44
トランシーバモード表示	8
取扱説明書	3
な	
内線	20
名前検索	51
ネットワーク応答	41

は	
バイブレータ	9, 28, 73
パスワードロック	8, 72
バックライト	78
発信番号	34
発信ボタン	5
発信モード	2, 71
発信履歴	26, 49
ハンドストラップ	3, 10
左ボタン	6
非通知	38
秘話機能	11
付加ダイヤル	52, 75
付属品	3
分計	9, 35
保護設定	60
保守	11
保証書	3
保留	24
保留ボタン	6
ポーズ	5
ま	
マイク	4
マイネーム	81
待ち受け時間	14
待ち受け状態表示	7
マナーモード	28
マナーモード表示	8
右ボタン	6
メニューボタン	5
メモリ番号検索	51
メール	59
メール再送	62
メール削除	61
メール作成	63
メール転送	62
メール表示	9
メール返信	62
メール保護	60
メール本文	59
文字種別表示	9
文字入力	70
文字表示	8
文字ボタン	5

や	
ユーザ非通知	38
ユーザモード表示	8
ら	
留守番電話	36
録音メッセージ	42
わ	
ワンタッチダイヤル	76
ワンタッチボタン	6
英・数	
110番、119番	viii
LCDコントラスト	78
LCD表示サイズ	79
USBケーブル	5, 15

主な仕様

【製品名称】

ネットコミュニティシステム α NX シングルラインコードレス電話機セット

【本体】

寸法	約48(幅)×17.3(奥行)×135(高さ)mm
質量	約89g
使用電池	リチウムイオン電池 電池パック-103 DC3.7V 720mAh
充電完了時間	約3時間
連続通話時間	約8時間(25℃常温にて)
連続待受け時間	会社モード 約250時間(25℃常温にて) 公衆モード 約350時間(25℃常温にて)

※連続待受け時間とは、新品電池にて充電完了後、電話機を充電器に置かず一度も通話や設定操作をしない状態のときの時間です。

通話・着信があったり、圏外の場合やエリアを移動すると時間は短くなります。

【充電器】

寸法	約70(幅)×78.5(奥行)×48(高さ)mm
質量	約42g
使用電源	AC100V 50/60Hz 10VA

【電源アダプタ】

寸法	約47(幅)×16(奥行)×45(高さ)mm (突起部とコードを除く)
質量	約40g
定格	入力:AC100V 50/60Hz 10VA 出力:DC5V 0.6A

※仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類	サービス内容
定額保守サービス	・ 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	・ 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます）（故障内容によっては高額になる場合もございますのでご了承ください） ・ 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用は不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センター

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9:00~21:00

※年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO



電池パック(デンチパック-103)は、環境保全のため、交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。



この取扱説明書は、森林保護のため、再生紙を使用しています

環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ: <http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～21:00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9:00～21:00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

© 2008 NTEAST NTTWEST



本 3014-1 (2008.10)
NX-PSSLSET トリセツ<1>